



第4号

令和6年7月30日

庄和すずらん幼稚園

保育随想

★ あきっぺ！

年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからずと人の哀れと戒めを表す言葉がありますが、季節が移り変わりました今月の花は、ダリヤです。花言葉は加齢、気品、優雅、感謝（白）栄華（赤）、優美（黄）、原産地はメキシコやグアテマラなどの高地になっています。日本へは江戸時代末期にオランダから持ち込まれたそうです。青い色素と甘い香りは、もともと持ち合わせていないようです。自信ありげに決して下を向かない花姿から、花言葉も前向きで優雅で贈り物としては最適な花です。

私たちは、いつの頃からか走ることが楽しくなったり、動くことの楽しさを覚えて動いて来ました。疲れたときも休むことは、良い結果につながらない事として続けてきました。私は幼い頃に、母親の農作業の手伝いをしている時に、あっちこっちと気が散りながらして居ると、「ひろやはあきっぺだかな〜」と言われた事が残っています。その通りなんです！その通りなのですが、その後の生活にも長く影響を持って暮らしてきました。面白い事にも沢山出会って、その時その時に打ち込んで成果や結果や形に成るものは残しておりませんが、その間も辞めたくなくなったりすることがありました。これは、青春時代と言われる朝鮮の時代にも、時々顔を出してきました。気が散るのは自分の性格で仕方ないか！などと落ち着き場所を作ったりしながらの、悩める少年でありました。何とか落ち着いた生活をしたいと思う少年は、楽しさも見つけられて打ち込んで、幾らかのそういった不安や悩みから離れられる事になるのですが、その後にも新たな悩みが次々と目の前に出て来るのです。早く走ろうとすれば、当然向かう風は強く吹いてくるものです。また、じっとしていると、これはこれで良いのかと不安が出て来るのです。そして、周囲だって黙って見てはくれません。

今を過ごす幼稚園の子ども達も、一方で矛盾との戦いの時代！と表現する人がおりまして。自分の思う通り行かないのですから、何で駄目なのか、これは誰が決めたんだ！思いの違う友だち同士だけではなく、世の中の決まりごとなんだって！等々、幼稚園生時代也大いに悩みを抱えて生きているのですが、良い環境と関わってくれる人たちのお陰で、自分を信じ生きていくことの楽しみを見つけれられています。そして、その後には人のために生きる喜びにも到達するのです。凄いことです。これも関わってくれた人たちや環境で、自分の中にきちんとしたこともない中でも、形にしたり動こうとする気持ちが沸いて来るのですから。

人間には、まっすぐ伸びよう！ 大きくなろう！ 人のためになろう！ みんなと仲良く生きよう！という風に創られているのではないのでしょうか。穏やかな気持ちで暮らす私達の先は、そんな気持で創り出せると思うのです。子ども達が教えてくれています。